

浜松市議会議長 内田 幸博 様

浜松市議会議員 田口 章

代 表 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 5 9 条第 2 項の規定により通告します。

記

質 問 要 旨	内 容 (具体的かつ簡潔明瞭に記入)	答弁を求めようとする者の職名
1 行政経営 日本一に向けて (1) 市長のリーダーシップの発揮 (2) 目標管理の導入と人事処遇制度への反映 (3) 内部統制のしくみづくり (4) 公会計制度の活用	(1) 戦略計画 2008 では、トップが示す重点事業やリーディングプロジェクトが、部局戦略計画に反映されていないケースがあった。部局や課単位まで、市長の考え方を浸透させるには強いリーダーシップで進めるべきと考えるが、十分発揮できているのか。 (2) 戦略計画をグループ・個人の年度計画に落とし込み、P D C A を回すために「目標管理制度」を導入するとともに、職責や能力、成果を反映した人事処遇制度とし、職員のやりがい、働きがいにつなげてはどうか。 (3) 上場企業では「内部統制報告制度」が義務化されたが、その手法を用いて業務の再点検を行ってはどうか。 ア 業務プロセスを洗い出し、有効性、効率性を高めてはどうか。 イ 業務プロセス上のミスや不正などのリスクを把握し、予防、発見するための手続を整備してはどうか。 ウ コンプライアンスの確保は重要な要素。これまでの「職員倫理条例」や「公益通報制度」を見直し、実効性を高めるとともに、不当要求や行政対象暴力等への対応のため、「コンプライアンス条例」を制定してはどうか。 (4) 公会計制度改革の取り組みは評価するが、さらなる精度の向上や活用を図ってはどうか。 ア 施設や事業ごとのバランスシート、行政コスト計算書を作成し、施設管理や事業の統廃合や効率化を進めてはどうか。 イ 意識改革につなげることができると思うが、どのように取り組んでいくのか。	市 長 " " 山崎副市長

質問順位	4	会派名	市民クラブ	議席番号	1 5
------	---	-----	-------	------	-----

質 問 要 旨	内 容 (具体的かつ簡潔明瞭に記入)	答弁を求めようとする者の職名
<p>(5) 来年度予算編成に向けて</p> <p>2 ユニバーサルデザイン (U D) 日本一に向けて</p> <p>(1) めざせ U D 日本一</p> <p>(2) U D を使ったシティプロモーション</p>	<p>(5) 税収の落ち込みが懸念され、一層の行財政改革が必要となる。財政健全化を進めると同時に、行政評価や戦略計画をきちんと評価し、重点事業への選択と集中で、浜松らしい財政運営をすべきだが、予算編成に向けた考え方を伺う。</p> <p>(1) U D は浜松の魅力の一つ。例えば「めざせ U D 日本一」を市のスローガンにするなど、市民一丸となって、これまで以上に学校教育や市民への普及を図り、心の U D を進めてはどうか。</p> <p>(2) U D の取り組みを進めるとともに、施設や道路改良を進め、早急に名実ともに U D 先進都市を築き、浜松の魅力の一つとして広く情報発信してはどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>企画部長</p>
<p>3 子育て支援 日本一に向けて</p> <p>(1) 不妊治療と妊婦健診への助成について</p> <p>(2) メディカルバースセンターの開設準備状況について</p> <p>(3) 放課後児童会の充実と放課後子ども教室について</p>	<p>(1) 不妊治療の助成金額や回数などの上乗せ措置を検討してはどうか。 また、妊婦健診への助成も上限回数をなくしてはどうか。</p> <p>(2) 平成 21 年 4 月の開設に向けた準備状況はどうか。同時に妊婦への相談窓口の充実など、安心して赤ちゃんを産める体制づくりを進めてはどうか。</p> <p>(3) 戦略計画 2009 基本方針に「放課後児童会待機児童解消」が記載されたのは評価。 ア お客様第一主義で考えるべきと思うが、取り組み姿勢を伺う。 イ 平成 20 年度の応募者は何人で、入会できなかった児童は何人か。また、現在の待機児童は何人か。その差をどう考えるのか。 ウ 待機児童がいる学校で行っている「余裕教室開放事業」は、市民ニーズを踏まえた上で見直してはどうか。 エ 地域の理解を得た上で「なかよし館」の見直しを含め、放課後児童会の拡充を図ってはどうか。 オ 昨年度、文科省がスタートした「放課後子ども教室」を市は導入していない。学校の事情に合わせて、あらゆる手法を考えて、放課後の子ども対策を進めるべきではないか。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>こども家庭部長</p> <p>学校教育部長</p> <p>こども家庭部長</p> <p>〃</p>

質 問 要 旨	内 容 (具体的かつ簡潔明瞭に記入)	答弁を求めようとする者の職名
<p>4 教育環境 日本一に向けて</p> <p>(1) 30 人程度学級の事業評価と推進について</p> <p>(2) 発達支援教育の充実について</p> <p>(3) いじめ・不登校への対応について</p>	<p>(1) 試行した学校での関係者の評価はどうか。試行対象校では、もう 1 年継続実施してはどうか。</p> <p>(2) 支援員の確保や発達支援学級の設置は十分とは言えない。優先度を高めて人員配置するとともに、通級指導教室の拡充を図ってはどうか。</p> <p>(3) 年々ふえているいじめ・不登校への対応を伺う。 ア いじめる側への心理カウンセリングはどう進めているのか。養護教員の複数化や、スクールカウンセラーの各校への配置はどうか。 また、スクールソーシャルワーカーを新たに配置したが、導入後の状況はどうか。 イ 「いじめ防止条例」を制定する考えはないか。あるいは今後策定を計画している「こども第一主義条例」に、いじめや人権擁護を盛り込む考えはないか伺う。</p>	<p>教育長</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>市 長</p>
<p>5 外国人との共生 日本一に向けて</p> <p>(1) 新規受け入れ時の対応強化</p> <p>(2) ことばの教室の充実</p> <p>(3) キャリア支援</p>	<p>(1) 外国人登録時に、学校教育制度や税制、社会保険などを伝える仕組みが必要。対応の改善が必要ではないか。</p> <p>(2) 入り口の課題は「日本語」。大人も子どもも同じ。日本語を覚えたいという人は多い。 ア 大人の日本語教室を集住地域で開催できないか。 イ 子どもは小・中学校に入学時に、最低限の会話や生活に慣れるまでの期間、「プレスクール」を開設するなど、就学前のプログラムが必要ではないか。</p> <p>(3) 中学卒業後のキャリア支援について伺う。 ア 大学に進学する子どもがふえてきた。高校進学率は 74%程度だが、親との意見の相違で進路選択に悩む子どもが多いと聞く。進路相談の体制が急務ではないか。 また、高校の受け入れ枠拡大を県に要請できないか。 イ 進学しない生徒に対する就労支援も重要になるが、どう進めていくのか。</p>	<p>市 長</p>